

たかむくのまちづくり

協議会
広報紙

高標の人口

世帯数	2,882戸
人口	7,665人
男	3,777人
女	3,888人
	R5.6.30 現在

No.36

目次

- p2~3...まち協新役員、決算予算報告、他
- p4...防災研修会レポート、他
- p5...「越前・加賀」日帰り研修レポート、他
- p6...コミセン講座元気に開講中
- p7...たかむく歴史がたり
- p8...たかむくまめ知識、防災力UP ミニ講座、他

舟寄踊×丸岡RUCK×国際交流 (6月4日 福井県営体育館にて)



8月15日は舟寄踊

誰でも踊りの輪に参加できます。
お盆の夜、みんなで一緒に踊りませんか？



高標西部コミュニティセンター講座

浴衣着付け教室 ~浴衣を着て舟寄踊に参加しよう~

- 日時 8月15日(火) 16時30分~
 - 会場 高標西部コミュニティセンター
 - 受講料 200円
 - 定員 10名
 - 持ち物 浴衣、半幅帯、下駄、肌じゆばん、腰ひも2本、伊達締め、前板
 - 締切日 8月3日(木)
 - 申込先 高標西部コミュニティセンター (Tel.66-0047)
- ※舟寄踊が雨天順延の場合でも、着付け教室は開催します。

舟寄踊

福井県無形民俗文化財

ハアー 舟寄踊りはその昔
アラアー ヨッサノサーー
黒坂の殿様はじめとし

飛入り歓迎
仮装踊り大歓迎
景品を沢山用意

踊るもはねるも今夜ばかり
アラアー ヨッサノサーー
明日からなー田圃の草取りじや

日時 8月15日 夜7時30分~
場所 舟寄踊広場 (旧北陸道)
(高標西部コミセン前) 舟寄踊保存会

たかむくのまちづくり

第36号 R5.7.26

まちづくり協議会に対するご意見は
たかむくのまちづくり協議会事務局まで

〒910-0242 (高標コミュニティセンター内)
福井県坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1
TEL (0776) 68-0843
koshinotakamuku@gmail.com



國神社の秘宝その2

天国宝剣 (あまくにほうけん)
鑄(こ)はは鍍金(とくごん)で柄には四銘(よめい)の先に各々瓜(うり)があり、象嵌(ぞうがん)そうがんに入りの鞘(さや)にも龍(りゆう)や雲(うん)の細工が施されている。大宝年間(七〇一〜七〇四年)、若しくは平安時代後期に活躍した大和(おほみ)和(わ)の伝説の刀工(かみ)天國(あまのくに)の作(しよ)と伝えられている。



剣長 36.8cm 鞘長 24.5 cm

編集後記

まち協設立以来何回か広報に携わっておりましたが、本年度よりとうとう広報委員長を務めさせていただきますこととなりました。コロナ禍もおさまりイベント等も再開し、広報紙にもますますぎやかな写真、記事掲載していくことができそうです。まち協の活動を地域の皆様にお知らせし、多くの人を巻き込んで活動の輪を大きくしていくために広報紙が役立つよう、広報委員の皆様と取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いたします。

今年度からまちづくり協議会に参加させていただきたくことになりました。会社勤めを終え、これからは古里のお役に立てたらと思っております。あらためて古里の様子を見渡すと、昨年十月に開通した新九頭竜橋は九頭竜川北岸の交通流動に大きな変化を生み出しました。将来延長されて、福井港丸岡インター連絡道路に接続されると可能性は更に広がります。嶺北縦貫線には大型量販店の出店が相次ぎ、九頭竜川北岸で坂井市を中心とする新たな商圏が生まれつつあります。北陸新幹線の敦賀延伸を来年三月(予定)に控え、古里には明るい未来がひらけてますね。(幸)

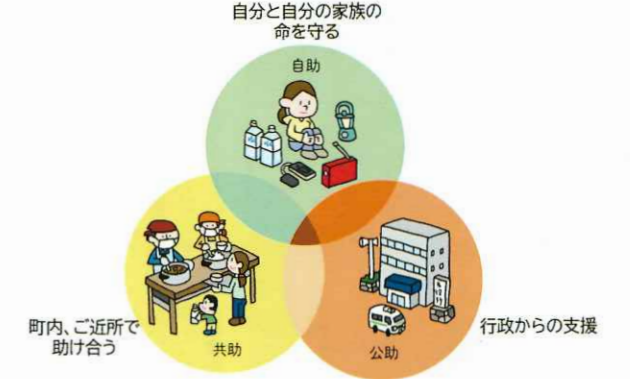


防災力UP! ミニ講座 第10回

地域防災と自然災害の多発化

「天災は忘れられたころにやってくる」この言葉は先人の経験則による警告にとどまらず、人間の一生と自然現象発生サイクルとの時間的なスケールの違いを象徴していると思います。自然災害対策として地域における防災力が必要となってきたのは、平成七年に起きた阪神淡路大震災以降、自助活動が必要であることが判明し、最低三日分の備えをして、他人に頼らないことを考えなくてはならなくなっています。国としても、何回も防災指針を変更し、それぞれの地域にあった防災計画の策定を進めており、福井県内において現時点ですべて策定されているのは、敦賀北区内です。今年中に許可されるころは和田高浜地区があり、六月より丸岡町磯部地区において防災計画策定作業が開始されました。避難計画は従来ですと「国や県が決めたこと」を執行するに限られていたが、現在は「地域現場に即応した計画」でなお且地域住民による運営活動であること」が基本となっており、防災力の原動力は各家庭での対策として、平常時からやっておくこと、発生時にやらなくてはならないことを、あらかじめ取り決めておくことが必要となっており、近年の災害は広域にわたり、しかも甚大な被害をもたらす。いすれ来るであろう災害に備えた計画やマニュアル訓練が必要である。

三日間は行政の支援が期待できないので、自助(助けあい、支えあいの視点をもつて取り組む。過去のハザードマップにはこだわらない。一旦災害が発生すれば、平常時の考えが通用しないことが多い。余談ですが、一九二三年に起きた関東大震災時に、当時の東京市長であった後藤新平氏は、正確な情報の把握について指摘してはいけなかったことを継承してまいりました。このためにも、自分の住んでいる所がどんな場所であるか、災害が起きた時どうすればいいかを住民みんなが把握しておくことが大切なのではないでしょうか。(防災士 吉田幸恵)



花育グループ わたしの推し花

インパチエンス
初夏から秋までと開花期間が長く、花も赤・ピンク・オレンジ・白などカラフルな色があります。こんもりと生じた株にたくさんの花が咲くと見事です。夏の強い日差しは苦手なので、明るい半日陰の場所でも育てられます。株姿が乱れてきたら切り戻して整えると、また花芽を付けていきます。和名はアフリカノウセンカ。熟したさやに触れると弾けて種が広がります。本来は多年草ですが、福井では寒さに耐えられず冬越しできません。霜や凍結に合わないよう室内で冬越しできると、翌年6月頃からまた花が楽しめます。



令和5年度のまちづくり協議会がスタートします



たかむくのまちづくり協議会 会長 金崎 昭雄

先般の令和5年度たかむくのまちづくり協議会総会において、第七代会長に就任しました。

平成十八年三月二十日、丸岡町・春江町・坂井町の四町が合併し坂井市が誕生しました。その翌年十一月五日、住民と行政の協働のまちづくり、住民自治の振興という新時代に即した組織体である「たかむくのまちづくり協議会」が設立されました。当まちづくり協議会は、令和五年で設立十六周年を迎えます。これもひとえに地域の皆様方、そして当協議会と共に歩んでくださった関係の皆様方に感謝申し上げます。

この地区は縄文の太古から人々の暮らしが、あり、純田園地帯としての人情味豊かな地域と新興住民の都市的な様相が混在し、現在では地域人口も七千五百人以上を数え、更なる協働性やコミュニケーションが求められます。地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、微力ではありますが、その重責を全うしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

今年、まちづくり協議会が過度期にさしかかっています。私は設立時からまちづくりに関わっており、昨年度まで歴史文化部会の部長として十年間活動してきました。この間いろいろイベントに参加頂き感謝に堪えません。コロナ禍で十分な活動が出来なかった数年、今年は社会全体が元の活動に戻りつつあります。その中で高橋小学校創立一〇〇周年記念事業があります。まちづくり協議会もこの事業に加わり盛り上げていきたいと思っております。

地域密着の活動を目指します

これを機会にまち協として小学校との関わりをもっと頑固にしていきたいと考えています。各部会においてもいろいろな事業計画を立てています。また、丸岡地区のまちづくり協議会連絡会で、私も提案した事業の連携を図っていくことが決まれば、秋に高橋ふれあいまつりが開催されますが、今年も企画段階から丸岡高校の生徒と正副会長が加わり事務局と一緒に立案しており今までのないくらい充実していることを確信しています。



積極的に参加できる まち協をめざして!



副会長 高橋 哲夫

新型コロナウイルス禍から脱出しつつある中、これまでコロナの影響により何もできなかった行事等を、まち協の正副会長とよく話し合い相談をして、企画運営をしていきたいと思っております。今、まち協として高齢化が進み、特に若い世代が地区との関わりが希薄になっていくように思われます。彼らがより積極的に参加できるように行事、地元を誇りが持てるような活動を企画していきたいと思っております。そして地域の輪が少しでも深まり、安全で安心して住めるまちづくりに目指せたいと思っています。



副会長兼 あんしん部会長 上田 茂宏

口頃は、まちづくり協議会の活動に賛同し協力をいただき誠にありがとうございます。あんしん部会は、地区の皆さんの安心安全なまちづくりをモットーに活動しています。

最近は大規模な災害が各地で多発しており、高橋地区もいつ災害が起きるかわかりません。「災害に強いまちづくり」を子供やお年寄りに優しいまちづくり」とは何かを考えてながら活動していきたいと思っております。今年度八月以降の事業としては、防災訓練やHUG訓練、防犯パトロール、炊き出し訓練を兼ねたふれあいまつりでの非常食の提供、てくてく歩こう会、防災講演会などを行う予定です。

「たかむく歴史がたり」第六回

一本田中の君久山不動院 その3

君久山不動院は久米田の何処にあったのか?

歴史文化部会 吉田昭宣

国神社の宝物殿に社領安堵状が三通展示されている。その内の二通が君久山注一(不動院)に関するもので城主の黒印または花押を押しした社領安堵状である。

これまで二回連載で、本多家、有馬家とかかわりのあった一本田中の君久山不動院について、笈谷石と木材をうまく利用した文化が江戸時代にあったことを示す貴重な建物であること。梵鐘には「是太守重昭公草創の勝地也」と銘文について掲載しましたが、今回は君久山は久米田のどこにあったのだからか、今も山はあるのだろうか? 君久山の所在地を明らかにしたいと思つた。

国神社の宝物殿に社領安堵状が三通展示されている。その内の二通が君久山不動院に関するもので、城主の黒印または花押を押しした社領安堵状である。

観

一、君久山不動院
一、吉谷村不動

右三箇所永々末代末寺可為支配者也
仍而如件

延宝三乙卯閏四月二十八日

神明

宝積院

中村君久山不動院之内村若市王子

先規之通末寺永代可為支配者成

永純 黒印

宝積院

史料紹介「丸岡領寺社堂数書付帳」紹介と翻刻

山州醍醐寺報恩寺末寺、越前国坂井郡三國湊

瀧谷寺再末寺、同国同郡丸岡宝積院末寺、開基延宝二年

山州醍醐寺報恩寺末寺、越前国坂井郡三國湊瀧谷寺

再末寺、同国同郡丸岡宝積院末寺、一寺一ヶ所

眞言宗公久山不動院 田二十歩 中村高之内

ここが楽しい歴史文化部会



副会長兼 歴史文化部会長 辻 暁市

今年度から新たに部長に就任しました。昨年度までは地元の皆さんの活動による活動を、広報紙の編集委員として、カメラマンで越えては私自身も楽しみながら活動して、カラオケのイベントに子供たちを楽しくする笑顔で、また、いろいろな活動や、子供たちも楽しんでいる。これからは、冷めるものも出て、集中して先生に質問をしたのは懐かしい思い出です。

このように、楽しんで行ける「歴史文化」楽しんで学べる「歴史文化」をモットーに、高橋地区の皆さんが参加しやすくなるような企画を絶賛考え中です。その際は「コメント」よりお知らせいたします。

地域住民が楽しく集うまちづくり



副会長兼 ふれあい部会長 種田 豊秋

ふれあい部会長の部長をお引き受けして二期目となり、また今年度はまち協全体の連携を強化するために各部会長が副会長を兼務することになり、責任の重さを痛感しております。私の担当するふれあい部会の特徴は、地域住民の皆さんが楽しくふれあえるような企画を行うことだと思っております。今年度この目的のため、「つと」に「食育」をテーマに様々な行事を予定していますが、「コメント」の花壇を見て綺麗だなと目的の保養をしていたら、家庭での食事の大切さを学んでいたたり、クリスマスコンサートを楽しんでいただけは幸いです。今年度も皆様方の積極的なご参加ご協力をよろしくお願い致します。

是は八清純公御代元禄十二年卯年を御寄付、本多家、御守殿御代下久米田村公久山ト申所、従古来を除地有之ヲ、二十三年以前古藩御守殿御代二不動堂ヲ建立二成、飯料米十六俵并本高之内畑十七歩、二動江寄付有之候、墨付証文八無之由、引渡寺社帳二有之候、御代二中村江引移申度、不動院依然、右通、緑替二仰付候 米七俵

山州醍醐寺報恩寺末寺、越前国坂井郡三國湊瀧谷寺再末寺、同国同郡丸岡宝積院末寺、同国同郡中村以上のような史料で、君久山が下久米田の山であったことは確か。しかし確実な位置が特定できない。ところが、正蓮花 吉澤資料館文庫。安永の一揆に関する「百姓共騒立候一件見聞聚の中に、野中村より一揆勢が君久山をふもとを通り、上久米田に向かう一節が目にとまった。これでおおよその位置が明らかになった。君久山はこのあたりの山。再度国土地理院の地図で探すが地図には表示されていない。等高線を見てみると、古墳の遺跡が確認される君久山と思われる山が安永の一揆の野中村から久米田のふもとを通り上久米田に向かう一節の通り、道沿いに確認されるではないか。

君久山を見つけた! 長年わからなかった君久山不動院はここだと思ひ込み、再度、久米田、野中山王、板倉の古老を尋ねまわり、ようやく正確な所在地が判明した。しかし君久山のこと誰も知らず、地元では君久山は丸山と呼ばれていた。さらにはこの丸山は現存しない。赤色立体図の君久山と思われる古墳の山は、丸山と東方に僅かに離れた標高九十mほどの小高い山だった。地籍図には丸山腰とか土居陰の字路があるのみ。しかし国土地理院の昔の航空写真は君久山が鮮明に映し出されている。高橋用水と朝倉街道は、



古墳の山(高さ90m)
元JAカントリー用地
君久山(昭和40年代)
※土地改良前

注一 当初 君久山不動院 後に公久山不動院と書かれています。
注二 赤色立体図は、近年全国の文化財調査で導入されている。航空測量技術で作られた地形測量図である。古墳や城跡の詳細な現状を把握する手法として用いられる。



令和5年度の予算案

(収 入)	
地区会費	940,000 円
市交付金	4,854,900 円
寄付金	0 円
雑収入	81,140 円
繰越金	1,323,960 円
合 計	7,200,000 円

(支 出)	
会議費	30,000 円
事務費	250,000 円
総務費	1,475,991 円
区長会活動費	1,319,009 円
敬老事業費	1,285,000 円
あんしん部会費	700,000 円
ふれあい部会費	800,000 円
ふるさと部会費	950,000 円
センター活動費	190,000 円
予備費	200,000 円
次年度繰越金	0 円
合 計	7,200,000 円

令和4年度の決算報告

(収 入)	
地区会費	945,500 円
市交付金	4,791,200 円
寄付金	0 円
雑収入	128,535 円
繰越金	1,639,265 円
合 計	7,504,500 円

(支 出)	
会議費	19,800 円
事務費	257,031 円
総務費	1,342,076 円
区長会活動費	1,235,888 円
敬老事業費	1,225,000 円
あんしん部会費	674,594 円
ふれあい部会費	626,147 円
ふるさと部会費	657,512 円
センター活動費	142,492 円
予備費	0 円
次年度繰越金	1,323,960 円
合 計	7,504,500 円



四月二十六日(木)にたかむくのまちづくり協議会の令和5年度総会が開催され、令和4年度の決算報告と今年度の予算案が承認されました。今年度は従来の組織を変えました。副会長を四人としそのうちの三人は各部会の部会長を兼務することにしました。そして正副会長を定期的に開催し情報を共有出来る体制を作りました。

● 高校生×まち協=∞のワクワク

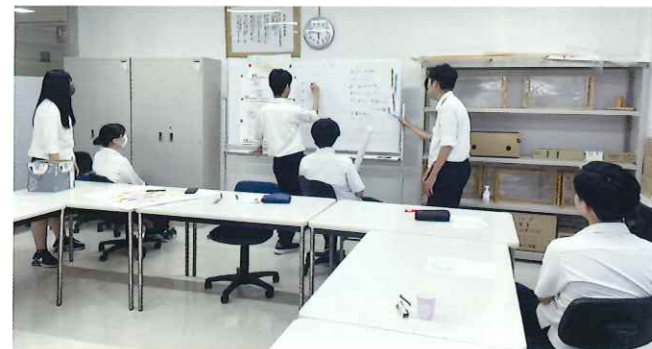
今年の高齢ふれあいまつりは9月17日(日)です

お化けやしき 歴史クイズ 嶺北消防太鼓演奏

お楽しみ抽選会 作品展 焼きそば

焼き鳥 気配切り 等々...

特に今年は高校生と一緒にまつりを盛り上げます。ワクワクする仕掛けやおいしい模擬店を企画中です。8月下旬に各ご家庭にチラシを配布しますので楽しみに。



● 高椋小学校 タイムカプセル開封式典のお知らせ

令和5年8月13日(日)午前11時より 高椋小学校体育館にて

高椋小学校では50年前に埋めたタイムカプセルの掘り起こしを、去る5月22日に行ったところ無事に発見しました。損傷もなく、おそらく当時の児童の作文や絵などが、その中にあるものと思われます。

ぜひすべての作品等を返却したいと思いますので、昭和48年度卒業～昭和53年度卒業の方は、事務局の高椋小学校までご連絡ください。

また、当時の学年や学級ごとで連絡を取っていただくと幸いです。ご都合のつく方はよろしく申し上げます。

連絡・問合せ先

高椋小学校
TEL:0776-66-0265
FAX:0776-66-2609



高椋・高椋西部 コミセン講座元気に開講中!

5月から開講したコミセン定期講座。どの講座も満員御礼で、皆さん元気に活動しています。今年度の募集は終了してしまいましたが、来年度はまた新しい講座を企画したいと思っていますので、どうぞ楽しみに。



プレママ・育児中ママ対象! おんぶde♪だっこde♪お菓子づくり

忙しいママが抱っこひもであやしながらでも、簡単・短時間・洗い物も最低限でおいしいお菓子やパンを作る講座です。ママ同士で楽しくお喋りしながら、出来立ての美味しいお菓子を食べて、赤ちゃんたちの交流もしています♪

美文字ペン講座

身近なボールペンを使用して、綺麗な字を書けるよう励んでいます。初回はそれぞれの参加の目的や心意気を聞きあいました!

まずはペンの正しい持ち方から始まり、最近ではご自身の名前を綺麗に書く練習をしています。今後はもっと新しいものを書く挑戦をしていきます。短時間でしっかり集中しながらも、学ぶ楽しさを味わっています。



初めてのスマホ教室

5月24日(水)よりスタートした「初めてのスマホ教室」では、すでにスマホを使っている生徒さんばかりでしたが、「撮った写真を加工してみたい」「アプリをインストールしたけれど、使い方が分からない」などの疑問や不安に思うことを、メモをとりながら講師の先生に聞いていました。

全6回の教室が、スマホを便利に使って、快適な生活を送れるきっかけになると嬉しいです。



アンチエイジングヨーガセラピー

関節を動かして血流が良くなるとアンチエイジングに繋がるとか!? 体操というよりは呼吸を意識する「ヨーガ療法」を実践しています。

夜間に開催しているのも、普段お勤めの方も多く、「この一時間だけは自分と向き合える大切な時間」と好評です。毎回穏やかな雰囲気、和気あいあいとした楽しい講座です。



ヴィーガン料理と米粉スイーツ

肉や魚、卵や乳製品などの動物性食材を使わずに作るヘルシーな料理「ヴィーガン料理」。

最近、大豆ミート(ソイミート)はスーパーでも手軽に買えるようになりましたが、袋の表示通りに茹でた後は、唐揚げにしたり、切って炒めたりと、「ミート(肉)のような大豆食品」として他の食材と変わらずに調理出来ることを知ってもらいました。

細切りにした大豆ミートは牛肉のような食感が満腹感もあり、米粉の餃子の皮は胃にもたれにくく、チンチャオソース・餃子と合わせてお酒のおつまみにもなりそうです。

♪2回目以降も新しいメニューで、ヴィーガン料理を覚えていきたいと思っています。

- 大豆ミートの米粉餃子
- 大豆ミートのチンチャオソース
- 米粉のパナマフィン





区長会・あんしん部会合同
防災講演会「どうする高椋地区の防災」

NPO法人まちの防災研究所の松森和人先生をお招きし、三月二十一日(祝)、高椋コミュニティセンターにおいて防災講演会が開催され、区長会とあんしん部会、ふくしの会、丸岡高校に声を掛け、高校生一名を含む四十五人が参加しました。今回は講演会にワークショップ形式を取り入れ、グループに分かれ、高椋地区の防災について心配な所、その対策について話し合いました。松森先生の講義では東日本大震災の例を出し、子どもは大人の判断で行動するため、多くの犠牲が出たという話が印象に残っています。自分が住んでいる所がどんなところであるか、災害が起こった時にどのようなことが想定されるかを、住民(特に大人)が把握することが必要であると強く訴えていました。



普通救命講習会

六月二十四日(土)、高椋コミュニティセンター大会議室にて救命講習会が開催されました。今年は全十六名の参加があり、そのうち九名は丸岡高校の生徒の皆さんでした。嶺北丸岡消防署の指導のもと胸骨圧迫やAEDの使い方を学びました。胸骨圧迫は真上から垂直に胸が5cm沈み込むようにテンポよく、AEDは必ず最初に電源を入れる、胸が濡れている場合は拭いてからパッドをつける、などなど。ここでは書ききれない程の学びを得ることができました。胸骨圧迫では、腕や腰が痛いとの声もありましたが体験は真剣そのもの。体験前は緊張気味の子の参加者も時間が経つにつれ自信の様なものが見えてきたように感じます。救急車が来るまでの七分間の時間の長さを体験した貴重な時間となりました。



あんしん部会・区長会合同
防災研修会

七月八日(土)、高椋西部コミュニティセンターにおいて嶺北丸岡消防署の協力のもと防災研修会が行われました。まち協あんしん部会、区長、自主防災組織の皆様約五十人の方が参加しました。訓練内容は火災時の煙体験、初期消火の水消火器訓練、応急手当訓練の心肺蘇生、AED取扱いの方法を教える頂きました。煙体験は会議室の部屋の中で行われました。口をハンカチで覆い、姿勢は低く、壁つたいに歩くという教えのもと、いざ煙の充満している部屋の中へ。前の人の背中がやっと見えるという視界のなかでの一分程度の体験でしたが、視界が閉ざされ足元には何があるかわからないという恐怖がありました。マンホールトイレは初めての方が多かったと思いますが、直接下水道に流すようになってきているので衛生上はとも良いと思えました。しかし設置されている所が少なく、これから普及して頂くことを願います。災害が起きた時、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を再確認できた日になりました。



「越前・加賀」日帰り研修

六月二十四日(土)、まち協の委員を対象に開催された日帰り研修は、梅雨の合間の好天の一日、参加者二十一名で実施しました。

金剣宮(白山市、きんけんぐう)は、「お金に困りたくなかったら、ここをお参りすればいい」と高名な経営コンサルタントが言ったとか。創建が崇神天皇三年と言われる由緒ある神社です。

白山比咩神社(白山市、しらやまひめじんじや)は、言わずと知れた加賀国一宮。白山をご神体とし、全国に二千社ある白山神社の総本社です。見上げると、獅子吼高原のハングラライダーがいくつも気持ちよさそうに飛んでいます。

本願寺吉崎別院(あわら市)では、法話を拝聴しました。法話なら一日中でも話しが出来ると言われる僧侶のお話は、笑いを交えながら心に沁みるものでした。迫書で京を追われた蓮如上人(一四一



五一四九九年)、この吉崎の地で「御文」(御文章)を著し、木版印刷のうえ全国に配布、布教に努め本願寺再興を果たしたとのこと。

道の駅「蓮如の里あわら」は、吉崎別院に隣接した場所にあわら市が建設し、今年四月にオープンしました。北瀨湖に臨むレストランや、地元で採れたメロン、西瓜など新鮮な農作物を販売しています。

坂井市龍翔博物館は、「みくに龍翔館」からリニューアルを経て、今年六月にオープンしました。明治時代に建てられた「龍翔小学校」の外観を模し、日本海を望む丘の上に建てられています。当日は四階の展望バルコニーから坂井平野も一望できました。今回のリニューアルにより、坂井市の歴史を中心とした展示がされています。

歴史文化部会 山本幸弘

たかむく玉手箱(別冊)が発刊されました



たかむくのまちづくり協議会では平成二十二年に、高椋地区の歴史をまとめた「たかむく玉手箱」を発刊しました。あれから十三年、明智光秀が主人公の大河ドラマが放送され、記念寺が注目を浴び、北陸新幹線の開業が間近になり周辺地域の景色も変わり、社会情勢も様変わりしてきたことから、「たかむく玉手箱(別冊)」を発刊することにしました。



今回発刊した冊子には、ドローンで空撮した高椋地区の写真や、称念寺の境内に自生する植物等の写真、高椋地区内の企業の紹介、高椋小学校一五〇周年記念のふるさと絵手紙コレクション作品の紹介、高椋方言集など、前回とはまた違った観点から高椋地区を紹介しています。六月に高椋地区の各家庭に配布しましたが、地区の方からは高椋を離れた親戚にも読んでもらいたいという声もあり、在庫限りですが希望者には高椋コミュニティセンターで無料配布しています。

